

三陸沿岸道路 全線開通後の交通状況について(速報)

- ～ 八戸市～宮古市間の移動時間が約1時間短縮 ～
- ～ 今回開通区間の普代～久慈間は4,900～7,700台が利用 ～
- ～ 隣接区間の交通量は増加傾向 ～

三陸沿岸道路については、昨年12月18日に全線開通しました。
今回、新たに開通した普代～久慈間及び、その周辺の開通直後の交通状況についてお知らせいたします。

■時間短縮効果

○八戸市～宮古市間の時間短縮

震災前と比べ、移動時間が**約1時間短縮**(3時間10分⇒2時間3分)
今回開通区間により**約16分短縮**(2時間19分⇒2時間3分)

■交通量の変化

【全車両】

- 今回開通区間(普代～久慈間)の交通量は、**4,900台/日～7,700台/日**
〔久慈宇部IC～久慈南IC：7,700台/日、普代北IC～野田IC：4,900台/日〕
- 並行する国道45号の交通量は、**3,500台/日～4,800台/日**
〔久慈宇部IC～久慈南IC 開通前8,600台/日 ⇒ 開通後4,800台/日〕
〔普代北IC～野田IC 開通前6,500台/日 ⇒ 開通後3,500台/日〕
- 三陸沿岸道路の隣接区間の交通量は、**増加傾向**
〔久慈北IC～侍浜南IC 開通前7,600台/日 ⇒ 開通後7,900台/日〕
〔田野畑中央IC～田野畑北IC 開通前3,700台/日 ⇒ 開通後4,700台/日〕

【大型車】

- 国道45号の大型車交通は三陸沿岸道路に転換し、混雑が緩和

■全線開通による効果や地域連携の取り組み

- 復興道路等の整備により新たな高速バスルートが誕生
- 三陸沿岸道路沿線自治体が連携した取り組みを加速

<発表記者会> 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 TEL 022-225-2171 (代表)
道路部 道路計画第二課 課長 おおさわ 大澤 なおふみ 尚史 (内線 4251)
課長補佐 ながはまや 長濱谷 かずのり 和典 (内線 4252)

三陸沿岸道路 全線開通後の時間短縮効果 (今回の普代～久慈間開通により全線開通)

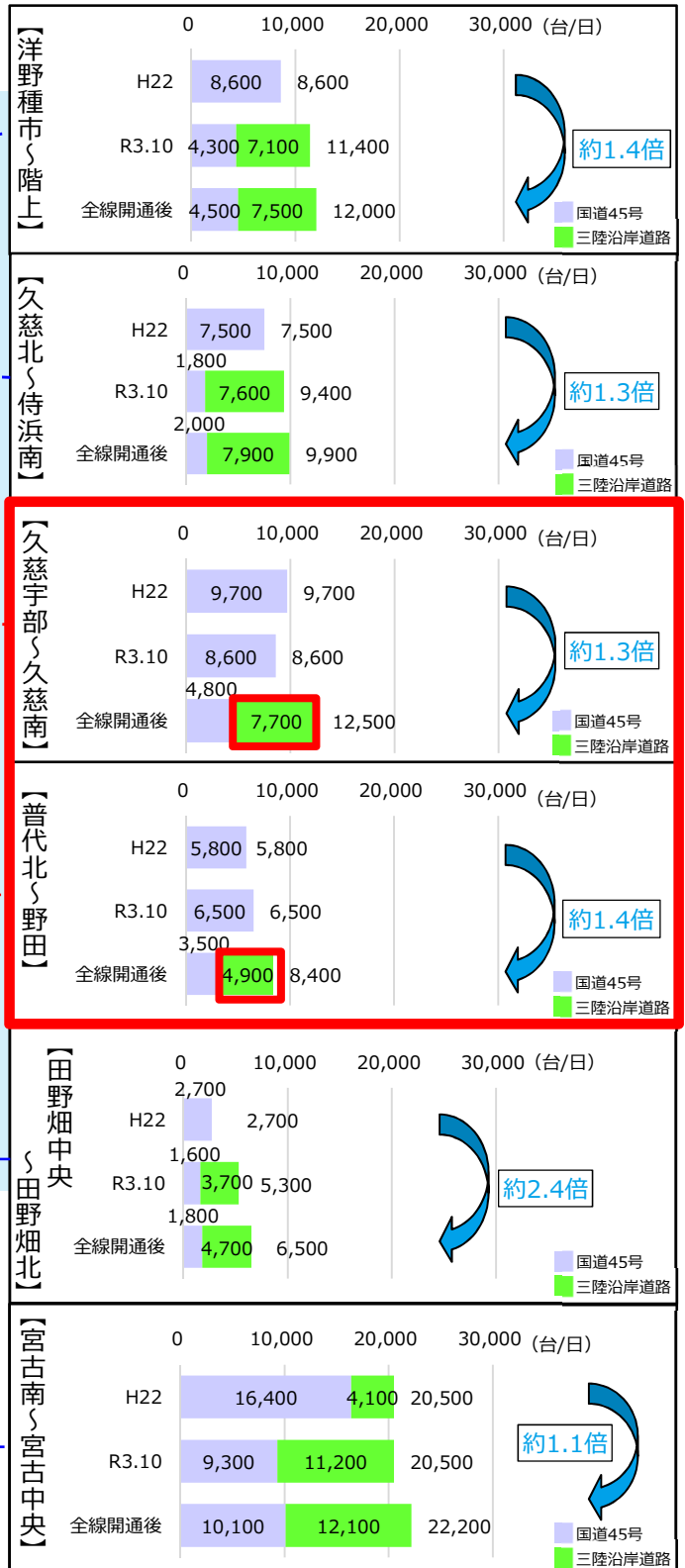
- 八戸市～宮古市間の時間短縮
震災前と比べ、移動時間が**約1時間短縮** (3時間10分⇒2時間3分)
今回開通区間により**約16分短縮** (2時間19分⇒2時間3分)



三陸沿岸道路 全線開通後の交通状況 (今回の普代～久慈間開通により全線開通)

平日 全車

- 開通区間は、**4,900台/日～7,700台/日**が利用。
- 三陸沿岸道路の隣接区間の交通量は、**増加傾向**。

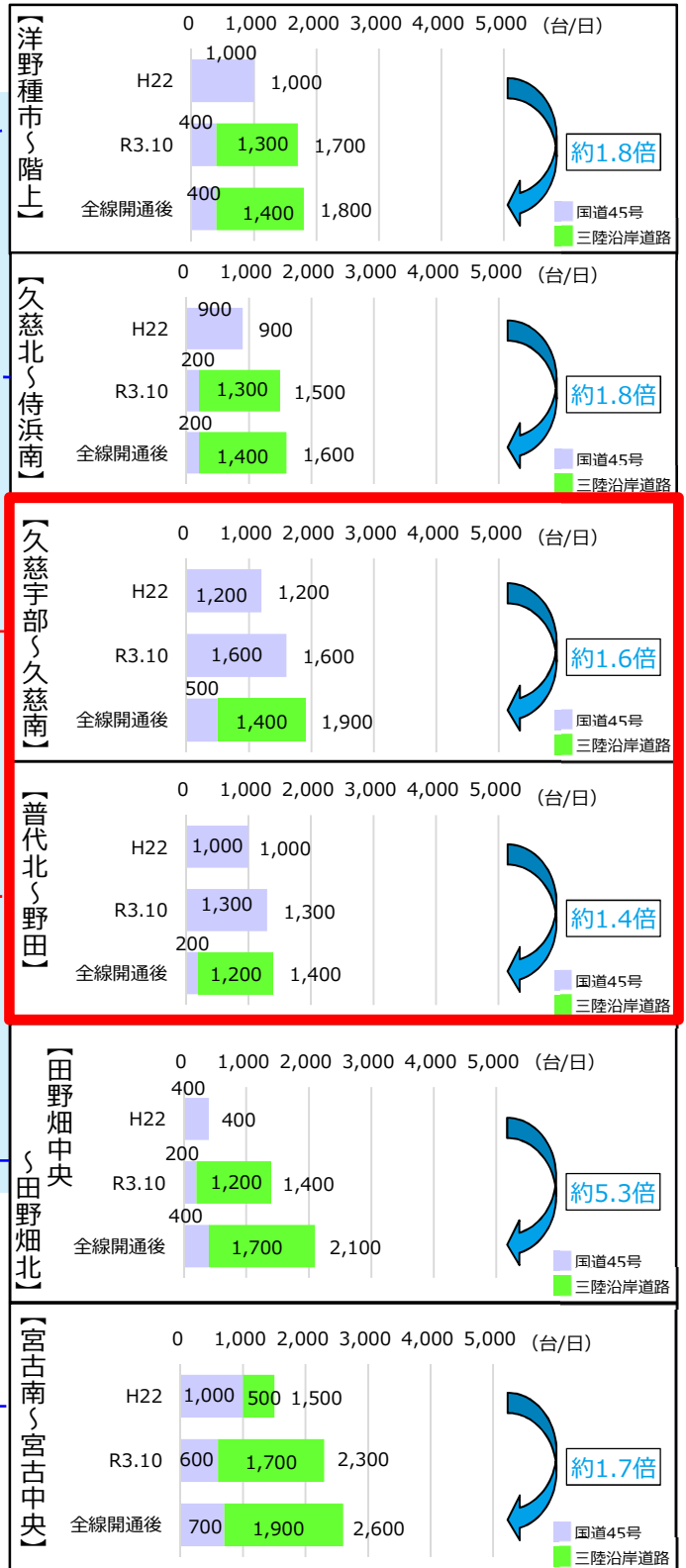


(出典)
 ・H22：H22年道路交通センサス
 ・R3.10：トラフィックカウンターによる計測値（R3.10.12(火)～14(木)平均）
 ※久慈宇部～久慈南は10月12日、普代北～野田は10月14日の交通実態調査結果
 ・全線開通後：トラフィックカウンターによる計測値（R3.12.21(火)～23(木)平均、速報値）
 ※久慈宇部～久慈南及び普代北～野田の国道45号は交通実態調査結果

三陸沿岸道路 全線開通後の交通状況 (今回の普代～久慈間開通により全線開通)

平日 大型

○ 並行する国道45号の大型車交通は、三陸沿岸道路に転換。



開通済
 現道活用区間
 その他高規格道路
 フルインター
 ハーフインター
 現道活用区間接続箇所

(出典)
 ・H22：H22年道路交通センサス
 ・R3.10：トラフィックカウンターによる計測値 (R3.10.12(火)～14(木)平均)
 ※久慈宇部～久慈南は10月12日、普代北～野田は10月14日の交通実態調査結果
 ・全線開通後：トラフィックカウンターによる計測値 (R3.12.21(火)～23(木)平均、速報値)
 ※久慈宇部～久慈南及び普代北～野田の国道45号は交通実態調査結果

【普代～久慈間の交通状況】

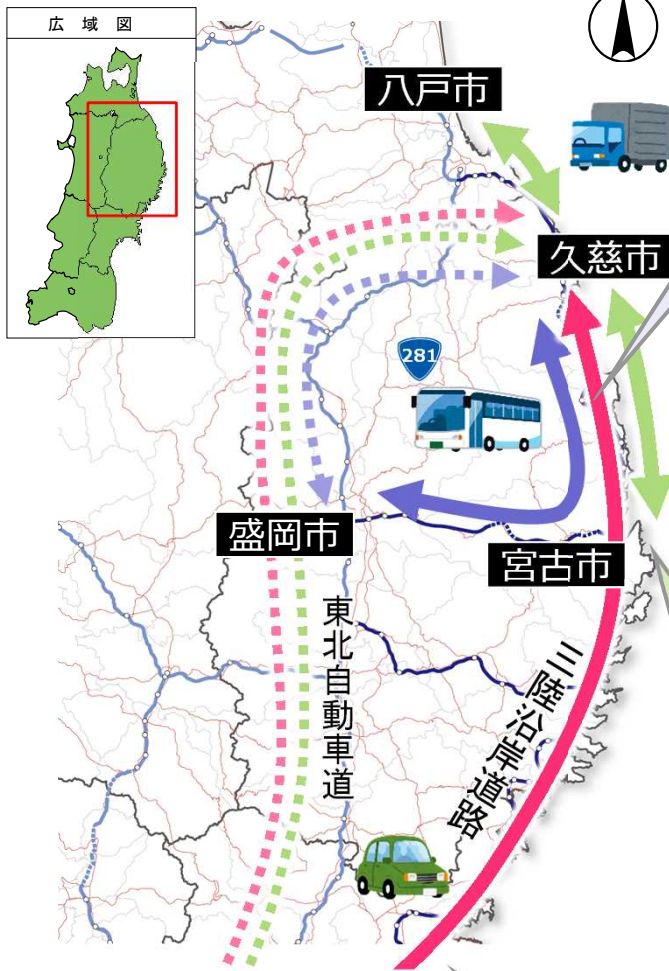


【R3.12.18 野田IC付近（岩手県野田村）】



【R3.12.22 下安家大橋と三陸鉄道（岩手県野田村）】

【全線開通後の地元からの声】



《バス事業者》

- 久慈市から盛岡市等の内陸方面への貸切バスは、これまで国道281号や東北道等、内陸経由のルートで運行していた。全線開通によって沿岸部の移動時間が短縮され、宮古市経由のルートへの転換も行っている。

(R3.12 ヒアリング結果)



《物流業者》

- 久慈市から宮古方面及び八戸方面への輸送経路として三陸沿岸道路を利用。今回の開通により久慈～宮古方面が約30分短縮になった。また、全線開通により久慈～八戸方面が約30分短縮になり、より安全に輸送することが可能となった。

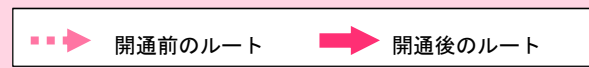
(R3.12 ヒアリング結果)



《利用者》

- 福島県から久慈市へ帰省する際、以前は東北自動車道を利用していたが、全線開通により移動時間が短縮になったため、今回三陸沿岸道路を利用した。

(R4.1 ヒアリング結果)

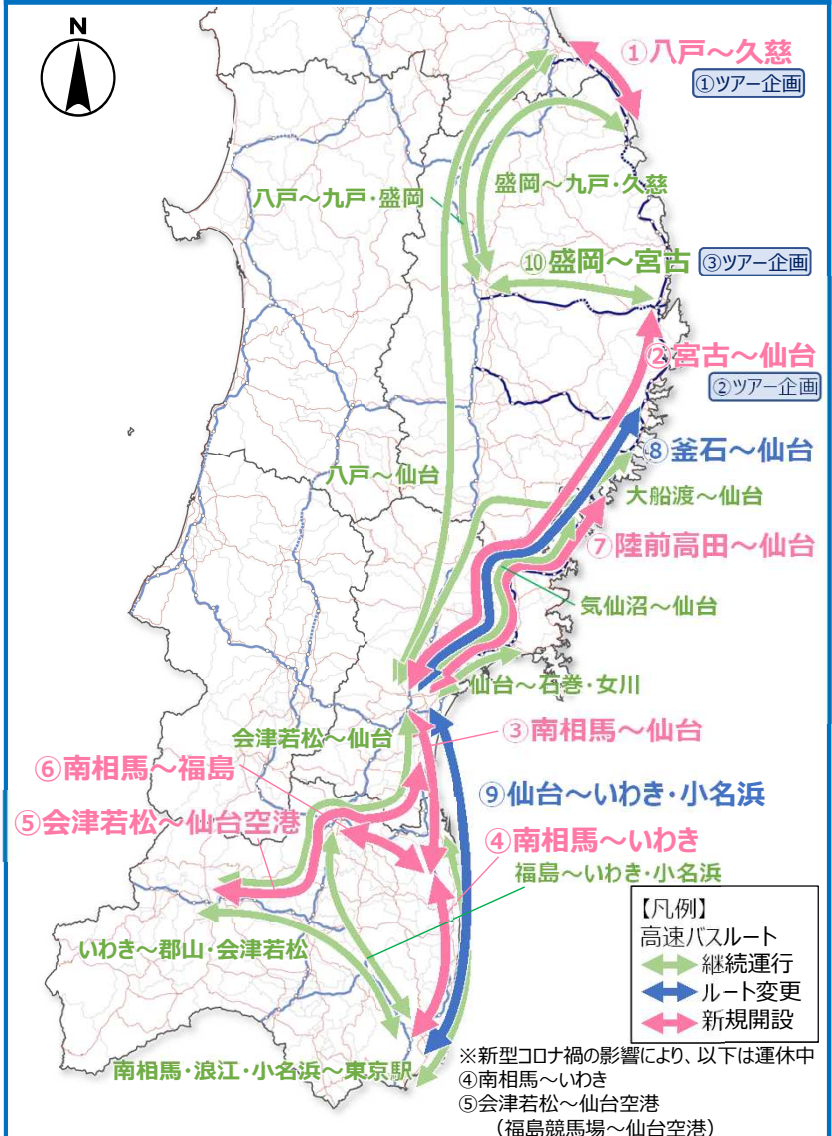


復興道路等の整備により高速バスの運行に変化。新たな高速バスルートが誕生

- ・三陸沿岸道路、常磐自動車道等の整備により、東日本大震災以降、沿岸地域の都市間を結ぶ高速バスシステムが新設
- ・一部の高速バスシステムでは沿岸経由にルートが変更され、時間短縮や料金低減により、沿岸地域における高速バスの利便性が向上
- ・高速バスルート開設や時間短縮を活かすため、観光事業者と連携した観光ツアー等が企画され、周遊観光促進、地域活性化も期待

■ 高速バスルート(太平洋沿岸発着)

現在(R3.10-11時点) ※H22.11以降の変化



■ 新規開設 (東日本大震災以降)

三陸沿岸道路(①,②,⑦),常磐自動車道等(③~⑥)の整備による

運行区間	便数 ※片道	運行開始時期
① 八戸⇄久慈*1	4便	※ 1
② 宮古⇄仙台*2	2便	※ 2
③ 南相馬⇄仙台	4便	H23.3.25
④ 南相馬⇄いわき	4便	H29.12.23
⑤ 会津若松⇄仙台空港	8便	H28.11.14
⑥ 南相馬⇄福島	6便	H24.4.1
⑦ 陸前高田⇄仙台*3	3便	※ 3

※1 実証実験として運行 (2021年8月7日~10月24日)
 ※2 実証実験として運行 (2021年10月22日~2022年1月31日)
 ※3 実証実験として運行 (2021年11月27日~2022年1月31日)
 月・金のみ運行便含む

■ ルート変更 三陸沿岸道路の整備による

運行区間	H22.11	R3.10
概要	東北道経由	三沿道経由
便数 ※片道	2便	1便
時間	3時間55分	3時間10分
料金	3,200円	2,900円

40分短縮
300円低減

運行区間	H22.11	R3.10
概要	東北道経由	常磐道経由
便数 ※片道	3便	6便
時間	3時間55分	3時間4分
料金	2,800円	2,750円

3便増
51分短縮
50円低減

※釜石⇄仙台: 12/31までキャンペーン価格(通常3,300円)

■ 時間短縮 宮古盛岡横断道路の整備による

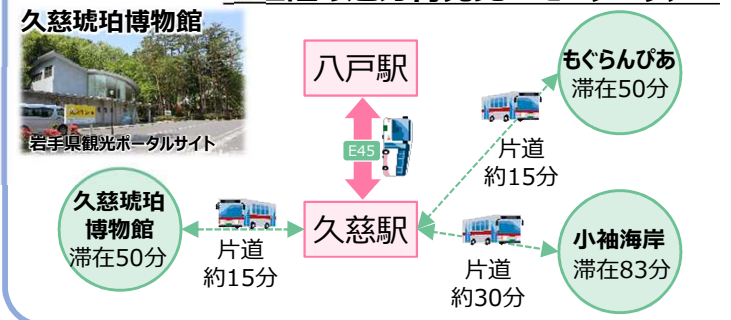
運行区間	H22.11	R3.10
時間	2時間00分	1時間30分

30分短縮

※盛岡⇄宮古: 特急便の所要時間(最短)

■ 高速バスを活かした各種ツアー企画等

● ① 八戸久慈自動車道開通記念 北三陸の魅力再発見! モニターツアー



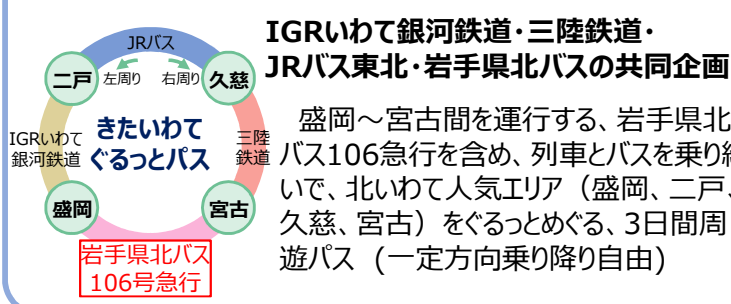
● ② 仙台⇄山田⇄宮古実証運行バス + 三鉄2日間フリーパスモニターツアー

バス実証運行と併せたモニターツアー

高速バスで仙台から海産物豊かな山田町を経由し、宮古市からは三陸鉄道のフリーパスを使い、東北随一の美しい海岸である浄土ヶ浜など、三陸エリアの観光地を周遊

※宮古~仙台便の実証運行にあたり、他に2件ツアーを企画

● ③ きたいわてぐるっとパス



出典: 高速バス時刻表 2010~11年 冬・春号 (交通新聞社)、高速バス運行各社HPより作成 (R3.10-11時点、夜行バスは除く)

三陸沿岸道路沿線自治体が連携した取り組みを加速 ~ NHK連続テレビ小説の舞台をつなぐ復興道路~

- ・三陸沿岸道路沿線には、NHK連続テレビ小説の舞台地が点在していることから、道路を活用した広域周遊観光の拡大や地域活性化を図るため、関係自治体が連携した観光振興の取り組みを実施中
- ・岩手県久慈市では、全線開通日（令和3年12月18日）に合わせて、宮城県気仙沼市をPRするイベントを開催
- ・また、復興支援道路沿線の福島市とも連携した取り組み（おかえりプロジェクト）を行っており、今後も復興道路・復興支援道路を活用した地域連携の取り組みを拡大していく予定

復興道路等沿線のNHK連続テレビ小説舞台 (H23震災以降)



令和3年12月18日に久慈市と気仙沼市が三陸沿岸道路で結ばれた 広域周遊観光の拡大、地域活性化を狙い連携したイベントを企画



- 場所：久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ
- 期間：令和3年12月18日～令和4年1月10日

《久慈地下水族科学館の声》

- ・気仙沼市と久慈市が三陸沿岸道路でつながったのをきっかけに、三陸の魅力をPRしようと連携
- ・今後も、各地連携したイベントを検討、実施の予定

《来訪者の声》

- ・三陸道全線開通とイベント実施が「訪問のきっかけ」となった
- ・三陸地域が「出かける地域の候補」となり、今後、出かける機会が増えると思う



▲三陸沿岸道路全線開通に合わせ、気仙沼市の魅力を発信するイベントを久慈市で開催。

気仙沼・登米・久慈・福島 おかえりプロジェクト

復興道路・復興支援道路の沿線で舞台地となった4市が連携し、全国から寄せられた支援への感謝の気持ちとともに、復興の様子と舞台地ならではの魅力ある情報等を連携して発信し、観光周遊・物産振興・移住定住促進につなげることを目的に発足。

<取り組み例>

気仙沼・久慈・福島情報ステーション「おかえり館」を東京・有楽町に設置

- 場所：東京都・有楽町 東京交通会館
- 期間：令和3年7月10日～
- ▲特産品販売をはじめ、観光情報発信や移住定住相談など、首都圏での情報発信ステーションとして、地域の魅力を発信。
- ※今後、三陸沿岸道路等の利便性向上を活かした旅行商品の造成などを実施予定



▲ホームページをはじめ、InstagramなどのSNSも開設。